



岡山大学自然生命科学研究支援センター
動物資源部門鹿田施設
Newsletter

2020
Mar. 22

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>



ラット飼育ラックを整備しました

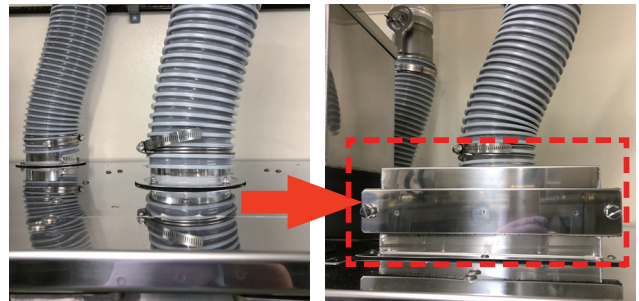
動物資源部門鹿田施設では令和2年3月、3階ラット飼育室へ精研製 Ap 型アニコン飼育ラック（陽圧型飼育ラック）を4台導入し、稼動開始いたしました。本飼育装置の導入により、収容数は100ケージ分（ラット200頭分）増強され、増え続ける飼育スペース需要に当面お応えできる環境を構築いたしました。今回整備した装置には、これまでの運用経験を踏まえ、昨年導入したマウス飼育ラックと同様にメンテナンス性を向上させる当部門独自の改良をメーカーに提案し、採用されました。

来年度も飼育ラックの整備を検討しております。動物資源部門では今後とも、利用者の皆様により良い研究環境を提供できるよう努力して参ります。ご協力、ご支援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

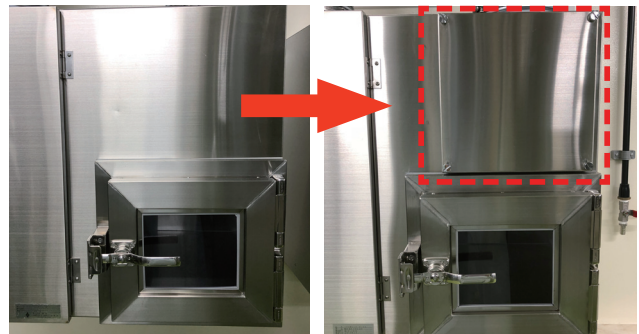


<今回整備されたラット飼育ラック>

当施設独自の改良点



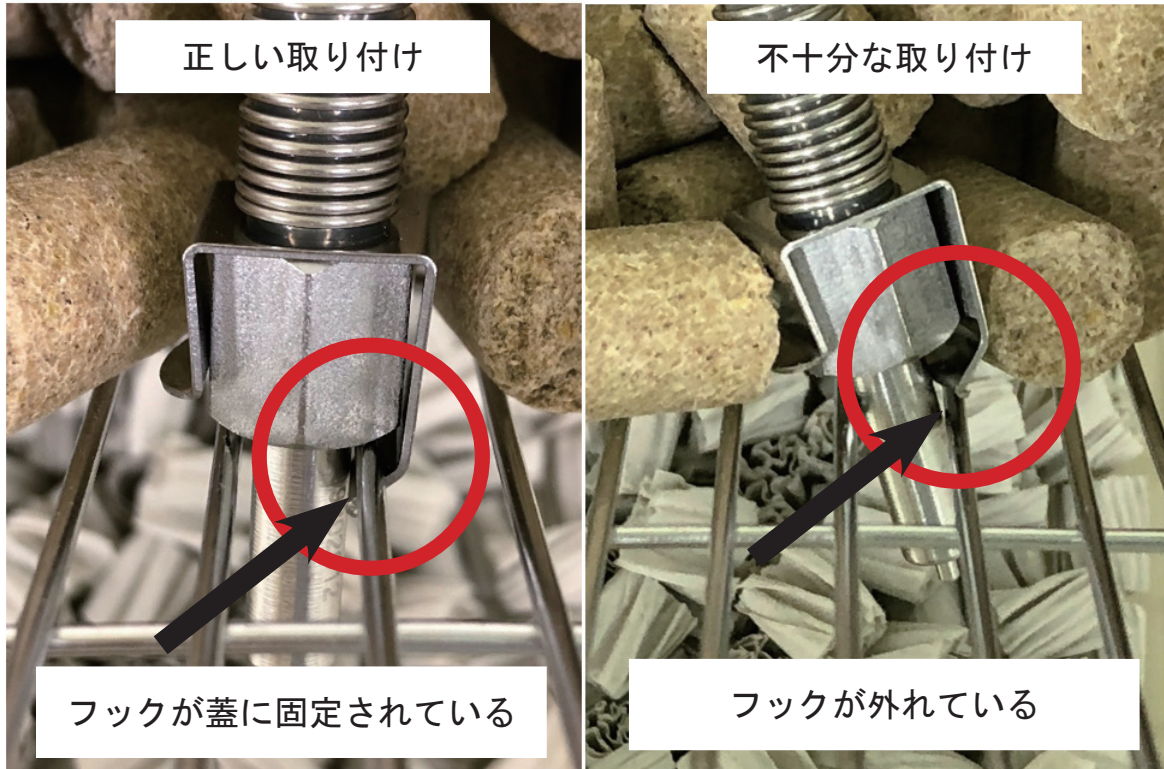
・排気にフィルターを取り付けることで、清掃が困難な天井裏排気ダクトにダストが溜まらないようにしました。飼育室内での害虫発生を抑制することが期待されます。



・モニターボックスにメンテナンス用の扉を取り付けることで、内部のダスト清掃を容易にしました。これまで事実上できなかった部分のメンテナンスが可能になることで、モニタリング結果の精度向上が期待されます。

水漏れ事故にご注意をお願いします。

最近、水漏れ事故が多発しています。事故の大部分が飼育ケージをラックに戻す際、給水ノズルを適切に装着されていないことに起因しています。最悪の場合貴重な実験動物が死亡し、これまでかけてきた時間、労力、コストを一瞬で無駄にしてしまうことになります。このような事故を極力避けるため、下写真を参考に正しく取り付けをして頂きますようお願いいたします。



右上写真のように取り付けが不十分な場合、飼料や蓋の金属部分にノズル先端が触れ水が出続けます。ノズルを取り付けたら少し引っ張ってみて外れないかどうか必ず確認する習慣を付けて頂きますようお願いいたします。



また、実験に使用するため飼育ケージをラックから出したり、ケージを処分したりして使わなくなったノズルの取り扱いにも注意が必要です。何気なく置いてしまうと、ラックにノズル先端が触れた状態になって水が出続けてしまうことがあり、飼育室に入った人が濡れた床面に滑って転倒負傷してしまう恐れがあります。

部門では使わないノズルにキャップをして頂き、このような事故を防ぐことにいたしました。順次飼育室の作業台に滅菌済のキャップ（ブルーチップ）を置いていきますのでご協力をお願いいたします。

不明な点がございましたら、部門職員までお問い合わせください。